

普及項目	増殖
漁業種類等	採貝漁業
対象魚類	アサリ
対象海域	熊本有明

## アサリ増殖技術指導

県北広域本部水産課・宗 達郎

### 【背景・目的・目標（指標）】

当水産課では、アサリ資源が大きく減少している中、母貝場の造成手法を検討するため、令和2年度（2020年度）以降、管内各地で網袋や被覆網等によるアサリ増殖の技術指導を実施している。

令和5年度（2023年度）は、玉名市滑石地先等の計3漁場において、新規被覆網設置によるアサリ稚貝の保護方法について技術指導を実施した。

### 【普及の内容・特徴】

令和5年（2023年）8月から令和6年（2024年）3月にかけて、玉名市滑石、同市大浜及び熊本市西区河内の漁場において、各漁業協同組合に対して、新規被覆網設置場所選定の調査、被覆網設置及び管理に係る技術指導を実施した。

### 【成果・活用】

玉名市滑石地先では、令和5年（2023年）9月に新規の被覆網を設置する場所を選定するため、事前に調査を行い、2分未満の稚貝が最大5,573個/㎡確認された。その結果をうけ、滑石漁協は10月に5×4mの被覆網400枚（8,000㎡）を設置、水産課ではその際の設置技術指導を行った。当漁場では、冬季に一部の被覆網下で減耗が確認されていたが、令和6年（2024年）1月の調査では、最大1,328個/㎡の2分貝が生残しており、被覆網の設置効果が確認できた（図1～3）。

玉名市大浜地先は、令和5年（2023年）8月に新規の被覆網を設置する場所を選定するため、事前に調査を行い、2分未満の稚貝が最大1,194個/㎡確認された。その結果をうけ、大浜漁協は8月に5×4mの被覆網200枚（4,000㎡）、9月から令和6年（2024年）1月に追加で120枚（2,400㎡）を設置、水産課ではその際の設置技術指導を行った（図4～6）。当漁場では、冬季に減耗が確認されていたが、令和6年（2024年）1月の調査では、32～80個/㎡の2～3分貝が生残していた。

熊本市西区河内地先では、令和5年（2023年）8月に被覆網を設置する予定個所の事前調査を行い、2分未満の稚貝が最大10,350個/㎡、2分貝が最大392個/㎡確認された。その結果をうけ、河内漁協は8月に5×4mの被覆網50枚（1,000㎡）を設置、水産課ではその際の設置技術指導を行った（図7～8）。

なお、当該被覆網設置後の調査は、ノリ漁期終了後の令和6年（2024年）4月以降に実施予定である。

これらの結果から、被覆網による稚貝の保護効果は高いと考えられるが、漁場によって減耗要因が異なると考えられることや、漁場間の成長差が大きいことから、被覆網の設置方法については、漁場の特性に応じて対応していく必要があると考えられた。

### 【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）



図 1 被覆網設置個所の事前調査(滑石)



図 2 新規被覆網の設置(滑石)



図 3 生残状況の調査(滑石)



図 4 被覆網設置場所指導(大浜)



図 5 被覆網設置個所の事前調査(大浜)



図 6 新規被覆網の設置(大浜)



図 7 被覆網設置個所の事前調査(河内)



図 8 新規被覆網の設置(河内)